

# 2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科担任	
外国語	論理・表現 I	2	1 年次			紙田 清・塩村 亮・河村 昌子	
使用教科書	Genius Logic and Expression I (大修館)		使用副教材	Genius English Logic and Expression I グラマー・ノート (大修館) Genius ジーニアス総合英語 第2版 (大修館)			
科目の目標				道徳教育のねらい			
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 2 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 3 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。				1 言語活動による他者との関わりを通じて、互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。 2 単元の題材を通じて、世の中の様々な事象に関心を持ち、積極的に関わる姿勢を養う。			
学習活動内容		育てたい6つの力 (資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働力	計画実行力
1	授業 (文法・学び合い)	○	○	○	○	○	
2	授業 (ペア活動・グループ活動)	○	○	○	○	○	
3	パフォーマンステスト (スピーキング)			○	○		
4	パフォーマンステスト (ライティング)		○	○	○		
5	提出物	○					○
6	小テスト	○	○				
7	課題確認テスト	○	○				○
8	定期考査・単元テスト		○	○	○		○
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	[知識] 学習した言語材料の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援のもと文章等を書く、または話す技能を身に付けている。(40%程度)		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、一定の支援のもと、日常的または社会的な話題について書く、または話すことができる。                     (40%程度)		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に書く、または話そうとしている。                     (20%程度)		
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	課題への取組	実技テスト	小テスト	課題確認テスト	考査・単元テ
	知識・技能	○		○	◎	◎	○
	思考・判断・表現	○		◎	○		◎
主体的に学習に取り組む態度	○	◎	○				

論理・表現 I 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前       期	4	Introduction (1) Unit 1 (3) Unit 2 (3)	自己紹介や家族・友人の紹介を することができる。	品詞・文の種類 文型		
	5	Unit 3 (2) Unit 4 (3) Unit 5 (3)	自分の学校について紹介する ことができる。 週末の予定を立てることができ る。 大切なものや経験を伝えること ができる。	時制		
	6	前期中間考査				
	7	Unit 6 (4) Unit 7 (3) Unit 8 (3)	学校のルールを説明し、後輩に アドバイスすることができる。 観光客にお勧め場所を案内する ことができる。	助動詞 受動態		
	8	前期期末考査				
	9	Unit 17 (3) Unit 18 (3)	水不足やフードロスについて意 見交換することができる。 過去にあった印象的な出来事 について話すことができる。	仮定法		
	10	Unit 9 (3) Unit 10 (3)	健康問題の解決策について提言 することができる。 進路について意見交換するこ とができる。	不定詞		
	11	Unit 11 (4) Unit 12 (4)	日本の学校習慣について述べたり、 学校習慣の賛否について意 見交換することができる。	動名詞 分詞		
	12	後期中間考査 Unit 13 (2)	交通手段について意見交換する ことができる。	比較		
後    期		Unit 14 (3) Unit 15 (3)	尊敬する人を紹介することができ る。 ボランティアや職場体験につい て報告することができる。	関係詞		
	1	Unit 18 (4) Unit 19 (4)	環境問題や科学技術について意 見交換をすることができる。	接続詞		
	2	後期期末考査				
	3	Unit 20 (4) まとめの活動	日本文化を紹介することができ る 未来に残したいものについて発 表する	名詞構文・無生物主語		